

ハイフローダイヤフラムバルブ752HF

取扱説明書

はじめに

752HFシリーズは取り扱いが簡単で、メンテナンスなしで数百万サイクルの運転が可能です。

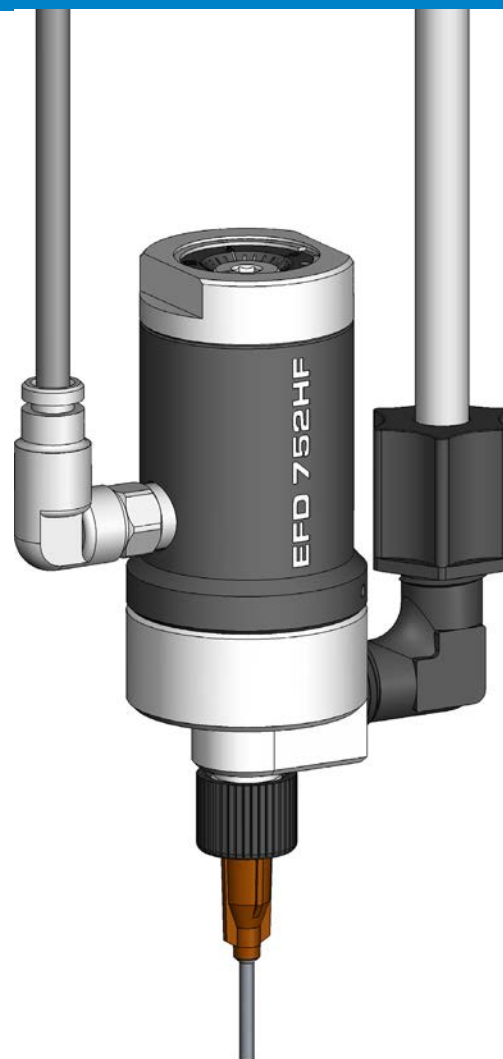
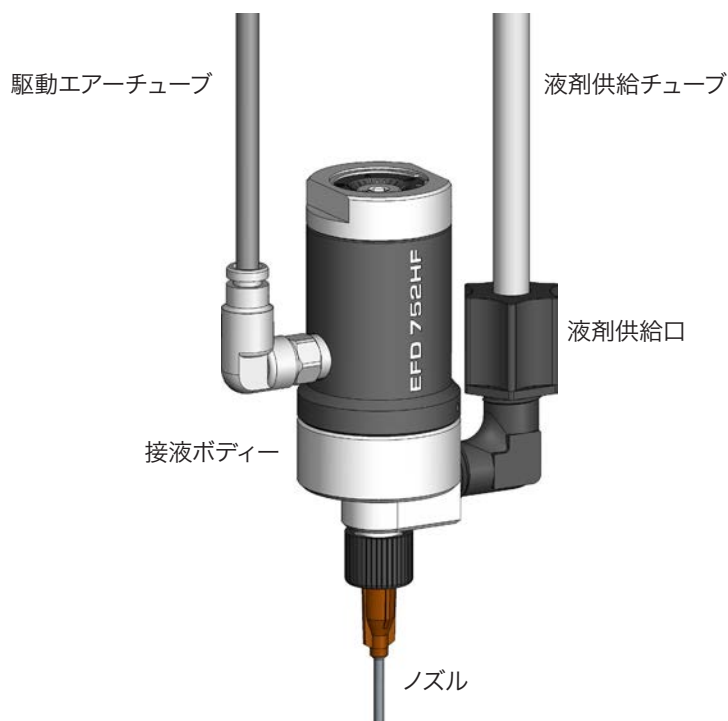
低～中粘度の液剤の吐出に適した、コンパクトで精密な調整が可能なダイヤフラムバルブです。

駆動部アセンブリは全機種において共通ですが、接液ボディーの材質が機種別に異なります。752HFシリーズでは、液剤の吐出口が接液ボディーの先端についています。接液ボディーの材質は下記の通りです。

752HF-SS (#7014315): SUS303

752HF-A (#7014139): アセタール共重合体

各バルブには、ノズルアダプター、液剤供給継手、5フィート(1.5m)の駆動エアチューブが付属しています。



取付

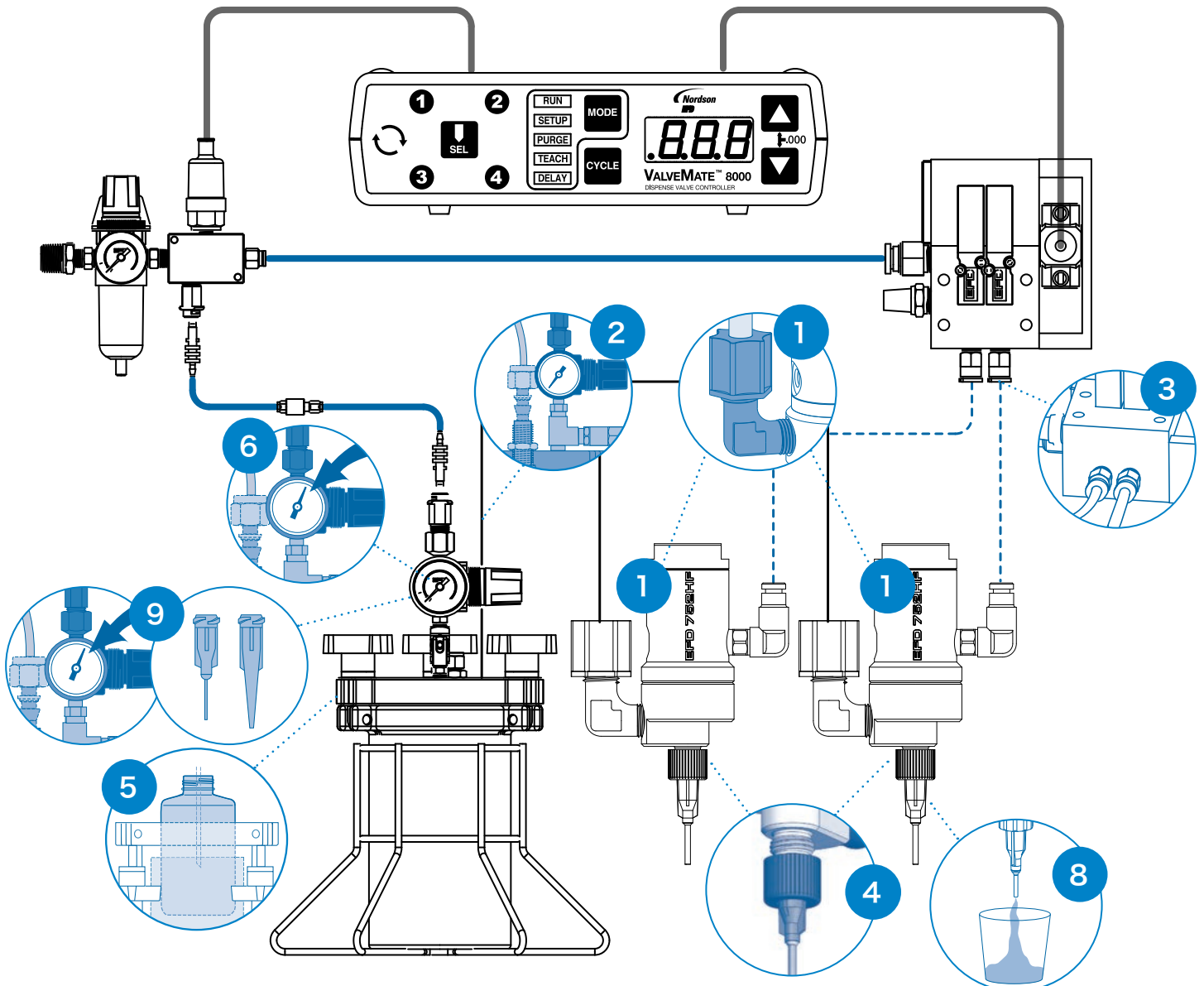
注：吐出量は、バルブの開放時間によって設定してください。また、バルブコントローラーの取扱説明書を参照してください。

バルブの取付の前に、接続するタンクやバルブコントローラーの取扱説明書をよく読み、ディスペンスシステム全ての構成機械の取扱方法をよく理解してください。

1. 液剤供給チューブをバルブに接続します。外径3/8"をお使いの場合は、継手を#7007038に変更ください。
2. 液剤供給チューブをタンクに接続します。
3. バルブの駆動エアチューブを、バルブ開放時間制御用コントローラーValveMate™ 8000(ソレノイドバック)へ接続します。

4. ノズルを接液ボディーのルアースリップに取り付けます。ノズル保持ナットを取り付け、手で締めます。亀裂やその他のダメージを与えますので、強く締めすぎないように注意してください。
5. タンクに液剤を入れます。このとき、タンクに液剤を直接注ぐ、あるいは液剤メーカーのボトルをタンク内に設置することが可能です。圧力をかける前に、確実にふたを閉めてください。
6. 液剤の粘度に合わせて、タンク圧力を設定します。

7. ダイアフラムのストロークを設定します。最初は、1/2回転以内に設定してください。*
 8. ノズルの下に容器を置き、液剤供給チューブ、バルブ、ノズルからエアが完全になくなるまでバルブを駆動します。
 9. タンク圧の調整、ノズルの交換により、吐出量を設定します。
- * ストローク調整ノブを締めすぎないように注意してください。また、開放方向に2回転以上させないでください。2回転以上開いた場合、加圧された液剤がダイヤフラムシール部を押し開き、液剤が継続的に流れ出る恐れがあります。



バルブの動作

吐出量は、バルブの開放時間によって設定してください。

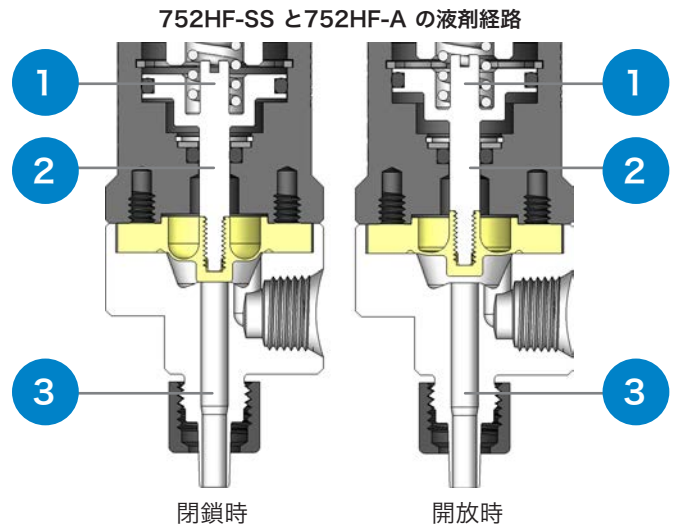
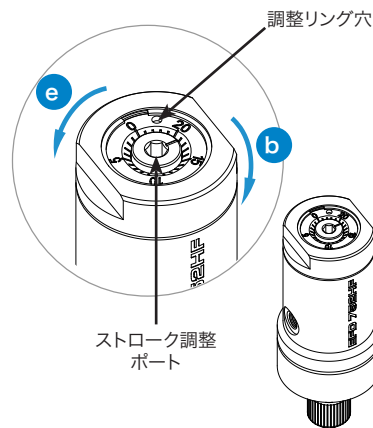
70psi (0.48MPa/4.8bar) のエア圧をかけることにより、内部ピストン ① を押し上げます。ダイヤフラムを押しつけていたピストンロッド ② が引き上げられ、シール部を開きます。これにより、③ より液剤が吐出されます。エア圧がかかっていないときは、ピストンが再度押し付けられ、ダイヤフラムを閉じます。

液剤の吐出量は、バルブ開放時間、液剤の粘度、液剤タンクにかかるエア圧、ノズルのサイズ、そしてダイヤフラムのストロークで変化します。流量は、タンク圧、ノズルのサイズ、そして液剤の粘度の組み合わせによって変化します。

バルブの調整をするには、ストローク調整リングの「0」マークをバルブボディーの2つの位置マークのどちらかに合わせてください。この状態で固定ネジを締めるとバルブは調整されます。

バルブの校正

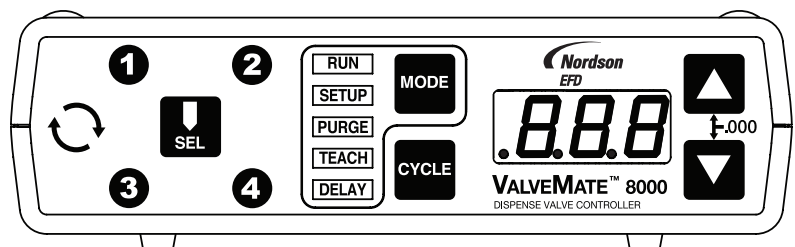
- 3mm六角レンチをストローク調整ポートに差し込んで下さい。
- 内側のノブを内部アクチュエータピストンに対して、完全に止まるまで時計回りに回して下さい。
- 1.5mm六角レンチをストローク調整リングの穴に差し込んで下さい。
- 微少な力をかけ、「0」をストローク調整ポートの目印に合わせて下さい。
- これでストローク調整は完了です。流量調整を行うストロークの設定のために、3mmレンチをストローク調整ポートに差し込み、反時計回りに回して下さい。



ValveMate のコンセプト

ValveMate 8000は、エンドユーザーのお客様のご使用において、利便性と効率を最大限にするために、バルブの調整を簡単にするバルブコントローラーです。吐出量の主な調整要素はバルブ開放時間です。

ValveMate 8000は、バルブの近くに設置され、押しボタンでバルブ開放時間を設定することが可能です。ValveMate 8000は、マイクロプロセッサにより、吐出量を非常に高精度の制御をおこないます。



重要:ソレノイドマニホールドブロックは、別にご注文ください。詳細については、ノードソンEFDにお問い合わせください。

仕様

共通

ダイヤフラム: UHMW*ポリエチレン

入力エア: 0.48~0.62 MPa/4.8~6.2 bar (70~90 psi)

最大液剤圧力: 0.48 MPa/4.8 bar (70 psi)

作業最高温度: 43°C (110°F)

取付: M5 x 0.8

752HF-SS and 752HF-A

寸法: 77.3 mm (L) x 28.6 mm (直径) (3.04" x 1.13")

重量: 752HF-SS: 123g

752HF-A: 81g

シリンダーボディ材質: 752HF-SS: 硬質アルマイト

752HF-A: 硬質アルマイト

接液ボディ材質: 752HF-SS: SUS303

752HF-A: アセタール共重合体

フリーフローオリフィス: 直径3.18 mm (0.125")

液剤供給口ネジ: 1/8-27 UNF

ノズル保持ナット: ノードソンEFD製ノズル用標準

*超高分子量

自動、半自動、卓上のアプリケーションにおいて、ValveMate8040をお使いいただくことにより、バルブの安定した運転と簡単な出力調整が可能になります。

ノードソンEFDのオートディスペンスシステムとValvemateコントローラーを組み合わせることで、スプレーバルブの使用が可能となります。

詳細はノードソンEFDまで、お問い合わせください。



ノードソン EFDは、世界40ヶ国に販売・サービス拠点を持っています。詳細は www.nordsonefd.com/jp をご覧ください

日本

+81-3-5762-2760; japan@nordsonefd.com

グローバル

+1-401-431-7000; info@nordsonefd.com

©2022 Nordson Corporation 7014140 v113022